

中国留学体験談

国際学国際文化学科 2 年

箱田果秀

今回の 4 ヶ月に渡る留学は毎日が怒涛の日々で今現在私の人生の中でもっとも濃く充実した期間でありました。ここにはその 4 ヶ月間で私が身を以て体験した異文化に触れ、そこで生活するという事について記したいと思います。

はじめに留学目的の主である勉強面で言うと自分の中国語能力の低さに驚きました。現地の最初の授業では先生が行う授業や生徒の会話の中国語がまるで聞き取れず、悔しさと不安でたまりませんでした。外国人の生徒は英語も私達より流暢に話せるので日本人以外のクラスメイトと仲良くなるどころか会話もできないのではないかと心配になりました。その日から遅れを少しでも取り戻したくて必死に勉強に励みました。毎日の授業の予習復習を丁寧に時間をかけてコツコツ積み上げていったら 1 ヶ月がたった頃には授業内容にも少しずつついていけるようになり、先生が時々いう冗談にも笑えるようになりました。また、師範大学で日本語を勉強している学生と日中交流会で友達になりお互いに

わからないところを質問して教え合い、一緒に遊び会話をするのでとても勉強になりました。中国語がある程度聞き取れて、話せるようになるとクラスメイトたちとご飯会を開催し、徐々に親睦を深めていきました。ある日はアラブ系のクラスメイトがイスラム料理の店に連れていってくれたり、ある日は韓国人のクラスメイトがサムギョプサルを食べに連れていってくれたり、もちろん私達日本人も寿司道場という日本料理店に彼らを連れていき、一緒に寿司はもちろんすき焼きなどを食べました。

次に生活面について学校内の寮での生活、食事について紹介します。学校内には寮、食堂、屋台、スーパー、コンビニなどがあり、生活に必要なものはほとんど全て学校内で手に入ります。中国は物価が安いので食事はお金を気にせずお腹いっぱい食べることができますが、中国の料理は脂っこく、辛いものが多いので注意が必要です。しかし慣れとは恐ろしいもので、私の場合、来てすぐの頃は苦手だったパクチーが今では大好きになっていたり、辛いものもそこまで耐性がなかった方なのですが日本に帰ってから七味や唐辛子が無いと物足りないと思うまでになりました。なのではじめは口に合わないものでも段々と慣れていく場合もあるので心配しなくて大丈夫かと思われれます。寮内ですが夏

はエアコンのおかげでとても涼しく、冬はとても暖かい快適な暮らしができました。

まだ書き足りない部分がたくさんありますが見てくださった方の役に少しでも立てたらこれ以上嬉しいことはありません。留学するまで、してすぐはわからないことが多く不安になることも多いかと思いますが大丈夫です。困った時には助けてくれる人が必ずいます。だから安心して思い切って決断をしてください。

クラスメイトたちと



韩国烧肉

